

編集と発行 高知県安芸郡馬路村 馬路村公民館
印刷 川北印刷所

馬路村まじり

人口と世帯数

(2月末日、住民基本台帳による)

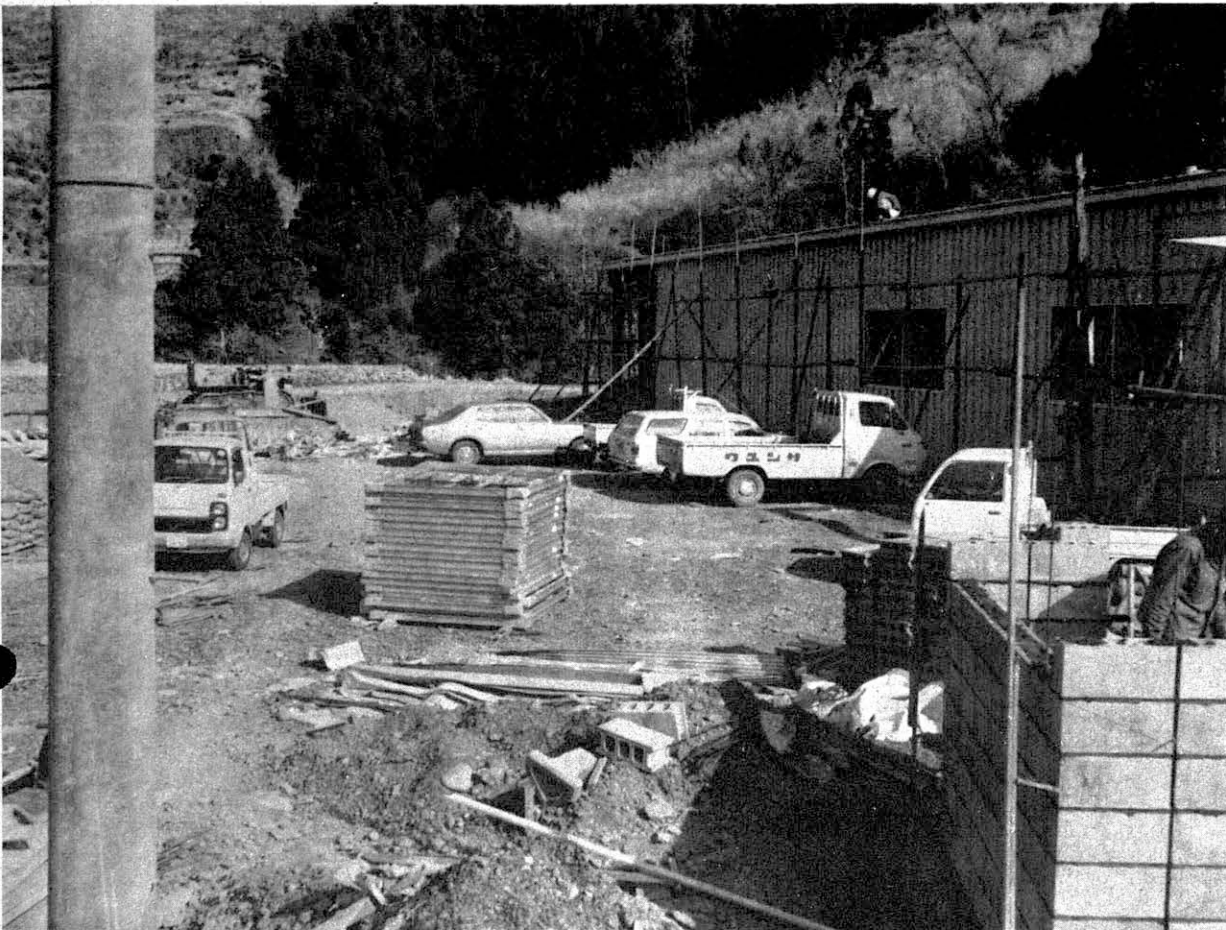
大字	男	女	計	世帯数
馬路	630	635	1,265	395
魚梁瀬	418	416	834	311
計	1,048	1,051	2,099	706

一口辞典

馬路村の人口世帯数の推移

昭和30年	3,242人 860戸
昭和35年	3,425人 995戸
昭和40年	2,774人 871戸
昭和45年	2,134人 751戸

(国勢調査から)



期待の日富電業スタート間近か!!

「農村工業導入」として誘致した、株式会社ニチフ端子高知工場は、資本金 1,000 万円。現在工場建物もほとんど完成、4月1日開業を目途に準備が進められています。なお、従業員は24名(男子12名・女子12名。うちUターン組5名・新卒3名)でスタート。将来は50名に増員される予定で、既に2名の技術員が日精機器(株)坂出工場にて技術習得に出向いております。

教育と福祉に重点 一、三億三千三百万円(昭和49年度一般会計) 一方、住民負担も増

三月定例議会は十二日開会され、村長提出の昭和四十九年度一般会計予算案など十八議案、議員提案の「村税条例の一部を改正する条例」を原案どおり決定。「失業保険制度を根本的に改正しようとする雇用保険法案要綱反対に関する請願」を採択し、十五日閉会しました。

昭和四十九年度一般会計予算案は、三億三千三百万円で、前年比三十四・八パーセントの伸びを示し、当初予算で三億円を超えたのははじめて。(昭和四十八年度一般会計最終予算案計は三億七千二百七十八万三千円)

本年度予算については、国の総需要抑制策のありを受けながらも、村民運動場を中心とする馬路地区教育団地構想や、長寿祝金、母子父子家庭の医療費の無料化、重度心身障害者福祉手当等の制度化など、教育福祉には積極予算を組む反面、公共土木事業等については継続事業にとどめ、新規事業は大幅に圧縮されています。

一方、住民負担についても、国保税、水道料金、保育料の改定や、議員提案による固定資産税率の改正など、若干の影響もありますが、近隣町村との比較も十分考慮されており、「適当な住民負担による積極予算」となっています。

なお、本年末で任期満了となる村長の次期政權担当の所信に関する一般質問に対し、村長から「今のところ、残る任期を全力投球するだけである」と答がありました。

昭和四十九年度一般会計の概要は次のとおり。(別表1参照)

歳入

歳入で最も大きいものは、地方交付税の一億二千万円、昨年度より約十五パーセントの伸びを予想。以下村税、国県支出金等。

固定資産税率改正で 一千万円の増収

この議会で、議員提案により固定資産税率が、百分の一・四

から一・七に改正され、本年度より適用になり、約一千万円の増収になります。しかし、そのほとんどは電発の大規模償却資産にかかると、一般分は総額六十六万円程度で、住民負担には大きな影響はない見込み。なお、改正の理由を別掲のとおり述べています。

分担金負担金のうち、負担金は保育料で、現在の徴収基準は、国の基準からいえば三分の一にも満たず、中芸他町村と比較しても半分以下という極端な数になっており、今

回、本村の次に低い北川村並みに改正し、約百万円の増収を見込んでいます。それでも、国の基準からいえば半額程度で、「生活保護家庭と住民税非課税世帯は無料、以下所得に応じ、月額千円から、最高五千六百円」となっています。

具体化した 教育団地構想

歳出

歳出予算の性質別内訳は別表2のとおり。本年度計画された主な事業は次のとおり。

環境整備

生活道舗装として、丸山台地五百メートル、東川線七百七十七メートル、上坪線七百メートル、内原線二百五十メートルなど総額一千六百五十万円。法定外河川整備三か所二百二十万円。交通対策として、カーブミラー、ガードレール等百五十万円。下田地区防火水槽百万円等。

福祉政策

老人福祉として、長寿祝金を毎年十二月末に、八十才以上に一万円、七十五才以上に五千円を支給。ねたきり老人にホームサイレンの支給、老人クラブ娯楽設備などが新たに計画。心身障害者福祉として、重度心身障害者に対し月額千円の手当を支給。母子父子家庭の医療費の無料化。母子栄養強化事業として、村民税非課税世帯の妊産婦と乳幼児の各々に、一日一本牛乳の支給など、四月一日か

農林業

林道工事は、継続事業の宿ノ谷線四百メートル、川ナロ線百三十メートルの開設と、土川線四百メートル、門屋線七十七メートルの舗装。第二次林業構造改善事業として約一千七百万円。柚子対策その他新山村振興特別対策事業費一千七百万円。

商工観光

魚梁瀬湖水祭の執行費、鏡川祭、ふるさと祭等の参加経費、運輸省指定青少年旅行村計画の設計委託等。

教育

社会体育、学校体育の振興と馬路小中学校の老朽化に伴う将来計画として、通称笹草地区に教育団地として検討が続けられていますが、このほど用地交渉がまとまり、初年度経費が予算化されました。予算的には村民運動場(平均一〇メートル×七〇メートル)の建設事業費約二千八百万円と用地費、補

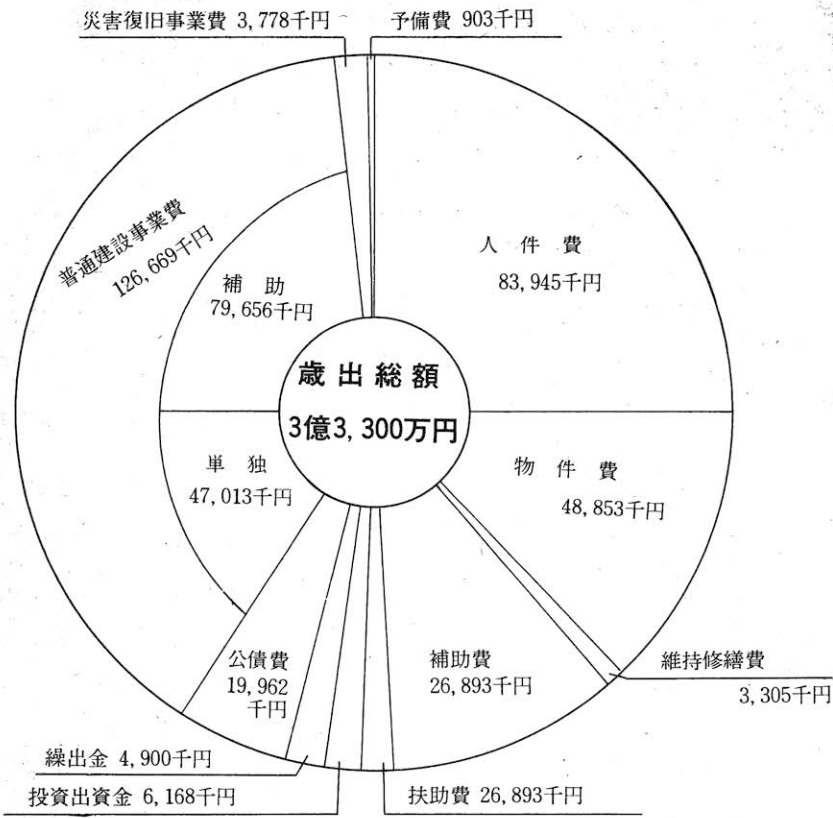
植樹祭

恒例の植樹祭は、三月六日馬路宮林署で、三月七日魚梁瀬宮林署で、関係者多数の出席のなか馬路では野木場周辺へ、魚梁瀬ではダム周辺へ、桜の苗木を植樹しました。

日誌

- 一月
- 3日 成人式
- 6日 消防出初式
- 14日 馬路地区教育団地用地等説明会
- 20日 県下中学校駅伝
- 二月
- 10日 第二十二回県下市町村駅伝
- 18日 臨時議会
- 23日 中ノ川・日浦両部落集会所落成式
- 27日 農協・森林総会

別表2 昭和49年度一般会計歳出予算 性質別内訳



別表1 昭和49年度一般会計予算 (単位千円, 比率%)

歳入				歳出			
款別	金額	比率	款別	金額	比率		
1. 村税	82,986	24.9	1. 議会費	13,039	3.9		
2. 地方譲与税	2,000	0.6	2. 総務費	42,270	12.7		
3. 自動車取得税交付金	3,000	0.9	3. 民生費	29,563	8.9		
4. 地方交付税	120,000	36.0	4. 衛生費	15,107	4.5		
5. 交通安全対策特別交付金	1	-	5. 労働費	40	-		
6. 分担金及び負担金	3,943	1.2	6. 農林水産業費	94,230	28.3		
7. 使用料及び手数料	263	0.1	7. 商工費	2,390	0.7		
8. 国庫支出金	34,128	10.3	8. 土木費	26,720	8.0		
9. 県支出金	27,535	8.3	9. 消防費	9,187	2.8		
10. 財産収入	719	0.2	10. 教育費	75,511	22.7		
11. 寄付金	9	-	11. 災害復旧費	3,778	1.1		
12. 繰入金	6,400	1.9	12. 公債費	19,962	6.0		
13. 繰越金	10,419	3.1	13. 諸支出金	300	0.1		
14. 諸収入	7,097	2.1	14. 予備費	903	0.3		
15. 村債	34,500	10.4					
計	333,000	100.0	計	333,000	100.0		

別表3 水道料比較

	家庭用	
	基本料 (10m ²)	超過料 (1m ²)
安田	250	25
奈半利	280	30
田野	175 (8m ²)	20
馬路	200	15
馬路改正	250	20

固定資産税率を、議員提案で改正する理由 (議案提案理由から)

わが村の過疎化の進捗は著しく、人口的には底をついた感がある。しかしながら、法の矛盾のため「過疎地域対策緊急措置法」の適用を受けることができず、財政難を来している。

緊急を要する事業として、馬路小中学校敷地造成約一千万円が、財政難のため一年繰延べされようとしているが、効率的な予算執行のためにも是非、本年村民運動場とあわせ、一挙に施工すべきである。さらに、昭和五十年以降以降小中学校移転改築等のため、一億円近くの財源確保の必要

に迫られている。固定資産税率を、百分の一・四から一・七に改正すれば、昭和四十九年度試算で約一千万円余の増収となる。

以上のような理由で、税率改正をすることは、村民に対して心苦しい次第であるが、住民の方々のご理解のもとに、昭和四十九年度から、向う三か年間に限り、税率改正を行ないたい。

① 地方税法では、百分の一・四を標準税率としていますが、百分の一・七まで、自治体の考えで改正できることになっています。

水道料金値上げ 基本料を五〇円

昭和四十九年度簡易水道特別会計は、歳入歳出四百八十四万八千円。

水道料金は、昭和三十五年以降改定がなされておらず、その後、魚梁瀬、相名、東川地区の増設もあり、人件費、維持費等経常経費の増大のため、独立採

算が困難となっており、中芸他町村なみ(別表3参照)に引上げ、約三十万円の増収をはかるうとするもの。しかし、予算的には、なお一般会計から、二百万円の繰入れが必要となっております。

昭和四十九年度国民健康保険特別会計は、歳入歳出それぞれ三千九百七十七万円。均等割を三千五百円(現行千五百円)に、世帯平等割を三千九百円(現行二千五百円)に改正、被保険者一人当たり約九千四百円の課税額となります。

改正の理由として、次のように説明されています。

「近年の医療費の増高に伴い、国保会計に及ぼす影響

1人平均9千4百円の課税 国民健康保険会計

は大きく、医療費の上は、前年対比四十二%となっている。本村における被保険者負担額は、他市町と比較して、県下最下位にあり、国保会計の収支からみても、税率の改正はやむをえない。一方、低所得者については、均等割、平等割共に軽減を行なう」として、

「二百五十万円の繰入れを行なわなければならない状態です。」

農協 新役員決まる

三月七日付で決定しました馬路村農業協同組合と森林組合の新役員は次のとおりです。

農協	森林組合
組合長 岩城 明信	監事 乾 正志
理事 谷井 益好	理事 島中 住亀
理事 門脇 武志	理事 門田 整
理事 尾岡 武治	理事 清岡 勉
理事 尾谷 利晴	理事 尾谷 康喜
理事 中村 重信	理事 伊吹 茂幸
理事 清岡 繁芳	理事 清岡 長幸
理事 山下 直	理事 乾 年長
理事 北岡 一雄	理事 西野 金次
	理事 寿雄

商工会 改善普及事業制度について

昭和四十八年七月に馬路村商工会がねんの念願であった経営指導員の設置が決まり、経営指導員一名、補助員一名、記帳指導員一名(非常勤)が配置され経営改善普及事業を行なうことが出来るようになりました。

中小企業のうちでもその大部分を占める小規模事業者のための指導体制を確立するために昭和三十五年六月に「商工会の組織に関する法律」の制定と同時に誕生したものです。

この制度は中小企業のなかでも、とくに零細な小規模事業者(常時使用する従業員の数が二十人以下、商業サービス業にあつては五人以下の商工業者)を対象として商工会、商工会議所に設置する経営指導員が実態に即したための細かい経営指導や施策の普及をすることによってその経営および技術の改善発達をはかり健全な企業として育ててゆくことを目的としています。

- 一、窓口において相談に応ずる
- 二、経営コンサルタント・大学教授・経営指導員等を派遣し講演会・講習会等を開催して行なう集団指導
- 三、税理士・公認会計士等の専門家を招いて行なう個別指導等が主なものです。
- 以上について、もう少し具体的に内容を説明いたしますと、
- 一、商工業に関する相談および指導
 - (1) 金融に関する相談および指導
 - (2) 税務および経理に関する相談および指導
 - (3) 経営の合理化に関する相談および指導
 - (4) 労務および社会保険に関する相談および指導
 - (5) 技術の改善に関する相談および指導
 - (6) 特許・実用新案・意匠・商標など工業所有権に関する相談および指導
 - (7) 商取引に関する相談および指導
 - (8) その他中小企業に関する法律および制度の紹介と普及
- 二、前各号の事項に関する講習会および講演会の開催
- 三、経営および技術に関する情報および資料の収集ならびに提供
- 四、社会保険等の事務代行
- 以上のような事が国から指定された経営改善普及事業ということになります。
- また、これ以外にも商工会自体の事業として一般事業・観光

自動車税の納期が年一回に

県税の納税につきましても日頃格別のご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。

このたび、条例の一部が改正され、昭和四十九年度の自動車税が、昭和四十九年度に変わりますのでお知らせいたします。

納期 自動車税は毎年賦課期日(四月一日)に自動車所有している者に翌年三月分迄の税金が課されますが、この納期が従来の年二回から年一回となります。

納期 五月十五日(五月三十一日)

馬路青年団 昭和四十九年度新役員

- (電話 安芸五二二六二) (県税だより)
- 十六
- 安芸市矢ノ丸一丁目四三
- 高知県安芸県税事務所
- なお、自動車税について詳しくお知りになりたい方は当所まで、お気軽にご相談下さい。
- 団長 東谷 望史
副団長 久保 進
書記 上治 香野
会計 西岡 紀美
西野 美鈴
- 馬路地区に在住の二十九才までの独身者であれば誰でも加入出来ます。
- 事業などをあげることが出来ると思います。
- 馬路村商工会では以上のような事業を中心にして健全な商工業者の育成と発達のために努力してゆきたいと思っておりますので商工業者の皆様、馬路村商工会を大いに利用していただきたいと思っております。



健康持袋

馬路村の四十八年度結核予防の目的は、

一、結核予防婦人会を中心に、結核の再認識と、百検診をめざす。

一、老人の検診率を高めるであった。

結核検診を受けよう

最近のこれら教育施設からの結核患者発生は、ツ反、BCGの徹底により激減し、

小・中学校生徒の受診率は、九十九割であり、又園児の受診率は七十三割であった。

Table with columns: 対象者, 受診率%, 在受診者数, 未受診者数. Lists various locations and their respective statistics.

また部落別受診率、未受診者数は別表の通りである。四十七年度の結核死亡は、死亡順位の第九位に位置してあり、昭和二十年代の第一位に比べると目覚ましいものがあるが、その殆んどは六十才以上の老人の死によって占められている。

この現象は、馬路村においても見られ、四十七年度の結核患者を出したのが、老人皆検診を目標にしたのだが、四十八年にも患者がでた。

四十八年、六十才以上の検診対象者二百八十五名中、四十一名が未受診であり、皆検診ではなかった。

四十九年度は、老人皆検診を目ざし、声かけ合せて検診を受けるようにしたいものです。

結核のみならず、高血圧においても心臓病においても同じですが、個人の健康は、個人個人の責任によって守られるべきものです。

一年一回の検診は、あなたの身体にとつては必須不可欠なものです。

農業だより

ユズの新植方法

一、植付準備

植穴を掘り、苦土石灰二割、溶燐一割と鶏糞等熟成堆肥を施す。平地地への植付けの場合は、高さ四十センチ、直径一センチのあんぱん型の盛土とする。

二、植付距離

三・六メートルと一・八メートルと一・五メートルの三本植えとし、将来は間伐して、三・六メートルの正方形とする。

三、苗木の取扱及び植付

イ 苗木は到着したら、早急に荷をほどいて十時間ぐらい流れにつけて根をほぐして植付ける。(特に根をかわかさないこと)

ロ 根は自然状態に広げて植え、灌水を充分行なう。

ハ 植付の深さは接木部が少し地上に出る程度とする。

ニ 支柱を立て、敷草を行なう。

三 結果促進と販売流通対策について

一、結果を促進するためには、適量な施肥と消毒と主枝・側枝の誘引が絶対必要な作業です。

二、今後のユズ販売については

一、青玉成果販売には特に病虫害予防の徹底が極めて重要である。市場並びに都市の消費筋では青玉成果の需要は非常に強く、今後、出荷量が急増しても、取引には、問題はないといわれていますので本年の場合は極力果実出荷をされませう。

三、ユズの栽培技術指針

すよう、今から肥培管理に十分注意をそそいで下さい。

四、五月のユズ栽培技術指針

表

Table with columns: 月別, 生育過程, 作業項目, 実施要領. Lists agricultural tasks and guidelines for May.

ご卒業おめでとうございます

魚梁瀬中学校卒業生の動向

Table listing graduates of Ikeyama-se Junior High School, including names, addresses, and future plans.

馬路中学校卒業生の動向

Table listing graduates of Uchiyama Junior High School, including names, addresses, and future plans.

鬼の大松 来る!!

高知県家庭婦人バレーボール連盟、馬路村教育委員会、馬路体育会共催による「バレーボール技術講習会」が三月二日、馬路体育館で開催され、元全日本女子監督「大松博文氏」を迎え、コートを授けました。

二出産おめでとう!!

父 北村祥三・延子 母 赤ちゃん 緑子 二男 12・25 二女 1・31 中ノ川

ごめい福をお祈りします

氏名 手島百合子 性別 男 行年 42 63 亡月日 1・20 世帯主 長次 妻 鈴枝 夫 ヤナセ



シロバラコーナー

一本の矢

初めて弓をならうとき、弓の先生は、「二つの矢を持ってはいけません。もう一本あるからと、おろそかになります。この一本の矢で、心を定めて射なさい」と教えたという。

またの機会があるわい.....とおろそかにすると、ついに機会をのがしてしまおうでしょう。

（つれづれ草）

選挙を正しく、良い政治をと一本の矢をつがえて、一本だけで、幸福のマトを射落したいものです。



教育の窓

茨城県稲敷郡江戸崎町立

高田小学校

高田小学校は茨城県教育庁指導課の推進する「特別活動」の研究校である。

学校の概要

児童数 男子七十七名
女子七十六名
計 百五十三名

学級数 六学級
教員数 八名
用務員 一名
馬路小学校と同規模で、特別教室も理科・図書・音楽室等であり、屋根は銅板とめずらしい古い校舎である。

一、ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
二、じょうぶな体をつくり、たくましい心を養う
三、郷土を愛し協力し合う心を育てる

教育目標

一、自発性・創造性のある子ども(すすんで考える子)
二、何事も最後までやり遂げる子ども(根気つよい子)
三、健康で心の豊かな子ども(健康な子)
四、勤労を愛し持続力のある子ども(働らく子)
五、友を愛し協同精神の高い子ども(協力する子)

校訓

「強く 明るく 考える子ども」
以上の外に学年努力目標を、低学年・中学年・高学年別に掲げ、四十八年度の重点課題として、特別活動の指導について(特に学級指導・学級会活動を中心に)研修日を決

視察報告 馬路小学校

めて研究している。私達一行が十月二十七日、八時すぎ学校を訪問する。校門に入るなり美しいコラスが聞こえてくる。音楽室で二人の先生の指導でクラブ活動のリズム部の練習である。応接室には、音楽コンクールの賞状がある。校長、教頭先生の説明を聞いている間にベルが鳴る。全校が一斉に児童一人いないだろうかと思われず静かだ。各教室で朝の話し合いが行なわれている。

プを適宜取り入れ、児童が学習中の自分の悪い態度に気づき、その改善のために自分の適した方法を考え、実践しようとの意欲をもち、一時間中いきいきと活動しており私達には実にすばらしい授業であり参考になったことを感じつつ後で担任の先生、研究主任の先生方と懇談をし種々御指導を受け学校を後にして、次の目的地へと……途中中継子の方で集中豪雨に急行券の払い戻しを受ける様になり計画は少々狂いながら東京の宿舎につき、明日の社会見学へと疲れをのぞく。

4 フランクフルト(西ドイツ) 九月六日(木)
北欧独特の紺碧の空の下を去って行かねばならないのは残念至極、今迄順調な旅であったが初めてハブニングに出会った。フランクフルト空港への途中、ハンブルグ空港に立ち寄り、予定の時刻がきてなかなか出発しない。空港の管制官のストであった。空に二時間遅れて目的地へ向かう。一時間で目的地のフランクフルト空港に着き、その足ですぐ「ゲテの家」の見学に行く。ゲテが生まれたところ第二次世界大戦で破壊されたが、階段の手すりから窓枠の一本まで丹念に集められ完全に復元し、博物館として公開されている。

のフランクフルトの町は、出勤の人と車で活気に溢れていた。郊外に出ると収穫のすんだ麦畑が続き、所々に緑に包まれた町がみえた。一時間後にライン下りの乗船場に到着。ここは、上流のポーター湖からちょうど五百軒の地点で、ライン川の水は薄茶色に濁っていたが、両岸の町は美しい。乗船すると、甲板の上に椅子を出して両岸や中洲をながめながら下る。いくつもあった中洲は相当な広さで、一つの中洲に牧場あり、広い麦畑あり、森あり、家あり、その間をトラックが走る。そして岸とは橋で結ばれている。

5 ローマ 九月九日(日)
彫刻の研究にきているという越さんのガイドで、ローマ市内の名所・旧跡をたずねて特に感じたことは、古代ローマの旧跡が市内の各地に点在している。フォロ、ローマノ広場は、カピトリウムの丘と正面のパラチーノの丘一帯に広がる古代ローマの大遺跡、この広場はかつて政治、裁判、宗教儀式、商取引など、すべての点で古代ローマの市民生活の中心となつたところで、ローマ最大のみどころのひとつであった。野ざしの石柱や手首のかけた彫像、すり減つた歩道の敷石や半ば崩れた壁など、雑草に埋もれた瓦礫の山は廃墟のさびしさであった。

この町はなんといっても、かつて中部イタリアで金融業者として最も繁栄したメチチ家がイタリア全土に散らしていた文化人達を、この町に集めておしむたく保護育成したことであつて遠くはギリシャ地方にまで難を避けていた文化人達もこの町に集結し、メチチ家の手厚いおしむなしたため、彫刻絵画におけるミケランジェロ、ダヴィンチ、文芸におけるダンテ、チヨサイ等この古き町は、彼ら中世イタリアのおもかげをそのまま今に残して我々現代人の心をいつまでもあたたくしてくれるところである。(次回へつづく)

一日先生

馬路小学校父親参観日

二月十七日に行なわれました馬路小学校参観日は、午前中、一日先生と吉原勇さん(県児童家庭課)の講演があり、午後、子供達の手のとどかない場所の清掃と遊び道具の整備が行なわれました。

吉原さんの講演は「変動する社会の中で子供の教育に対する親の役割」と題して、愛情の中での父親の権威といった内容でした。また、一日先生のテーマと講師は次のとおりです。

- 一年生 家庭のしごと 久保 科
- 二年生 消防署のしごと 中屋 容臣
- 三年生 役場のしごと 永吉 仁志
- 四年生 森林の育ち方と営林署のしごと 四国 俊一

長距離にいどむ

自分自身と のたたかいで あるといわれ、精神修養には効果的なロード・レースに馬路中学校はよく頑張りを示している。

日)第十位と、少数ながらも馬路は強いぞ、とロード・レース界をおどろかせました。また、二月十日に行なわれた、第二十二回県下市町



堂々の三位 安芸郡市中学校駅伝競走

伝競走(安芸郡体育会主催)ではAチーム十七位、Bチーム二十四位と力走し、四十八年度の長距離界に一大旋風を巻き起こしました。

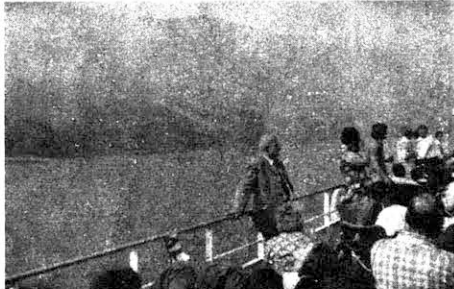
ヨーロッパ視察旅行を終えて

研修指導員 柴原政一

所々みられる万年雪の白さと湖のブルーが鮮やかに目にしみる。そして谷間とそのすそ野に点在する人家らしきものが本当に美しく、我々の期待を十分に満足させてくれた。

ライン川下り

ライン川下り 両岸のそそり立った岸壁の上は古城が見えはじめた。そして斜面は大方がワインの原料となるブドウ畑であろう、ライン下りもローレライを過ぎた次の町で終わり。帰りはバスでライン川に沿ってホテルに着く。



ライン川下り

パチカン市国、ローマの西端テベレ川の右岸にあるパチカンはローマ観光には欠かすことのできないハイライトであろう。世界中のカトリック教会の総本山として君臨するパチカンは、法皇を頭に約千五百人の市民と面積わずか〇・四平方キロにすぎない世界最小の独立国。パチカン宮殿とサンビエトロ大寺院及

ローマ遺跡 山並をみる。茶かつ色の山肌

ローマ遺跡

